

大木錬成綴り



平成16年 386号

今月号目次

平成十六年度開講式	2
青空道場	2
第四十九回小倉百人一首	5
伏木かるた大会	5
ジャベック児童英検	6
建国を祝う式	6
大伴家持脚頭彰会	7
赤米お田植え祭り	7
宇宙との調和と感謝の心	7
平成十五年収支計算書	8
おしらせ	9
行事予定	9

平成十六年度開講式

四月一日(木) 午後六時より当館道場にて、新会員二十名、継続会員六十名とその保護者が集まり、次のように開講式を行いました。

一、国歌斉唱

二、歓迎の言葉(野田館長)

三、職員自己紹介

四、錬成館で学ぶ際のきまりについて説明(吉野事務局長)

五、歓迎アトラクション

- 柔……基本練習、演武
- バトン……キャッツ

六、友情の歌(合唱)

歓迎の言葉

創始者

飯田峯兆先生の願い

館長 野田 武

皆さん、こんにちは
元気な声でこんにちはと返事して下さり、とつてもよかったですよ。

さ、今日は、新しく入会された会員を歓迎する式でもあり、今まで錬成館で、心と身体を鍛えてきた人達が、心を新たにして新年度を迎える式でもあります。

ところで、この道場の正面に向かって左側に、伏木小学校を創立された藤井能三先生の写真が飾っており、右側にこの伏木錬成館を創館された飯田峯兆先生の写真が飾っておりますね。

飯田先生は、今からおよそ六十年前に日本が戦争に負けて、人々がどうすればいいか迷っている時に「日本のよい伝統を受け継ぎ、未来のために新しい考えができる人が必要ですよ」と仰って、伏木錬成館を建てて、

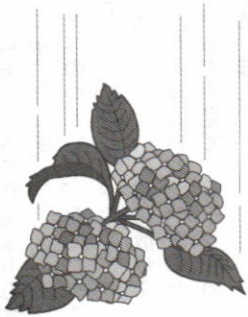
これからの時代を担う青少年の育成に特に力をいられました。

その伏木錬成館で心と身体を鍛えて、実社会で活躍しておられる方は沢山おられます。

中には、この錬成館の師範になつている方もおられます。

錬成館では、「礼儀・責任・忍耐・進取・奉仕」の五つを、人としての資質の目標にしていますが、この資質をしつかりと身に付け、日本のみならず、世界の平和のために活躍してください。

このことが、錬成館を創館された、今は亡き、飯田峯兆先生の願いであったのですよ。



青空道場

恒例の青空道場が連休の五月一日、二日、砺波青少年の家で行われました。野田館長の、亡き飯田峯兆先生が伏木錬成館を創館された講話を聞いた後、参加会員二十二名が心身の鍛練に心地よい汗を流したり、ゲームや散歩に興じたりしました。今年も、保護者九人の協力で、日本の神話の読み聞かせもしました。

「青空道場のこと」

木谷 あきひろ

となみの せいしょうねんの家はとても広かったです。

体育館は、さいしよは、さむかったけど、そのうちに、あたたかくなりました。

さいしよに、九周か十周ぐらい走りました。

ジュンツキもしました。前ふせと、こうほうかいてんと、うしろうけみもしました。

自分はとてもがんばったと思いました。

さいごに、あみ谷しはんが
んばったなって、ほめられて、
あくしゅもしました。とてもう
れしかったです。

黄色おびをめざして、がんば
ります。

「青空道場のこと」

木谷 まさき

とнами青少年の家でのけいこ
は、とてもきびしかったです。

一番つらかったことは、ラン
ニングでした。九周ぐらい走っ
たから、ちよつとつらかったで
す。

はたあげは、とてもさぶかつ
たです。さいごは、まいふせが
でき、とてもうれしかったです。

あみ谷しはんにもほめられ、
とてもうれしかったです。自分
でがんばったなつと思います。

きいろおびをめざしてがんば
りたいです。

「青空道場」

大川 たか生

青空道場では、いつもよりのた
くさんけいこをしたので、とて
もきつかったです。

いつものけいこですするつきや
けりのれんしゅうもしました。
足刀のれんしゅうもしました。
足先のむきがとてもむずかしか
かったです。

夜、体いくかんでゲームをし
ました。ハンカチおとしなどを
してあそんで、たのしかったで
す。

朝ごはん前のけいこがかわつ
た後、太ももがいたくなりまし
た。ときどき、こんなきつけれ
いこもやつていいなと思います。
うまくなると思うからです。

「青空道場」

大川 たかし

けいこは三時間あり、きつか
つたが、早かったと思います。

短刀取りをしてほめられたこ
とがうれしかったです。

きゆうけい時間では、大きい
折り紙を作るなどしました。ふ
つうのおりがみで作るよりむず
かしかったです。

夕べのつどいは、おにごっこ
をして、たのしかったです。

あさのつどいの前に散歩をし
て、たんぼほのわた毛がおっ
ているのを見て、もう春なのに
と思いました。

また、こんな青空道場がある
といいです。

「青空どうじょう」

なかなみ としまさ

あおぞらどうじょうにであら、
たのしかったです。

ついたのは、九時十分になり
ました。とнамиせいしゅうねん
のいえの、たいいくかんで、れ
んしゅうしたとき、おとうさん

がぼうをついて、ぼくたちがよ
ける、れんしゅうをしました。
ぼくは、あんまりよけられま
せんでした。

でも、またするとき、じょう
ずにしたいと、おもいます。

よるに、ゲームやれんしゅう
がありました。ゲームはすごく

たのしかったです。
はっこうどりの、まわるとこ
ろが、むずかしかったです。ま
た、こんどやるとき、じょうず
になりたいです。

「青空道場」

中波 俊勝

五月一日に、と波青少年の家
でやわらの道場がありました。

ぼくは一日目だけ参加しました。
青少年の家についた後に、野
田館長先生のこう話がありまし
た。

その後に、やわらの練習を二
時間やりました。

その後に、夕べのつどいがあ
つて、ゲームをして楽しかった
です。

その後に、夕食があつて、ご
はんやおかずがおいしかったで
す。

夜に、練習やゲームがありま
した。

ぼくが参加したのは、一日だ
けだったけど、練習やゲームが
あつて、青空道場は楽しかった
です。